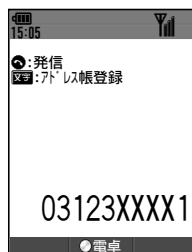
電話をかける

1 電源が入っていることを確認する。

●電波状態を確認してください。
●画面に「圏外」、「」、「」、「」が表示されているときは、ご利用になれません。（☞P.19-8）

2 市外局番からダイヤルする。

●同一市内へ通話するときでも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

電話番号通知／非通知の設定

●電話番号の前に次の数字を付けてダイヤルします。
■通知する……1 8 6
■通知しない…1 8 4

3 電話番号を確認し、を押す。

電話番号を間違えたら

●で、カーソル「＿」を動かしたあとクリアを押すと、カーソル位置の番号が消えます。クリアを長く（1秒以上）押すと、数字がすべて消え、待受画面に戻ります。
を押したあとは、を押して電話を切り、かけ直してください。

相手が話し中

●を押していったん電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。

4 通話が終わったら、を押す。

●V603SHをクローズポジションにしても、電話は切れます。V603SHをクローズポジションにしても、電話が切れないようにできます。（☞P.2-3）

ビューアポジションで電話をかける　アドレス帳を利用して電話をかけます。

■あらかじめアドレス帳の登録が必要です。（☞P.5-3）

S➡「電話」選択➡S➡「2アドレス帳検索」選択➡S➡アドレス帳呼出（☞P.5-14〜P.5-15）➡S（メニュー）➡「発信」選択➡S

●ビューアポジションで通話するときは、ディスプレイが見えるように持ち、レシーバー（受話口）を耳にあてます。
●ビューアポジションでの通話中には、次のボタンを使って各操作が行えます。

ボタン	操作
S	通話中メニュー表示
C（長押し）	通話終了
▶	受話音量大
◀	受話音量小

クローズ終話設定

■通話中に、V603SHをオープンポジションからクローズポジションに変更したとき、こちらの声を相手に伝えないようにできます。（電話は切れません。）

◉➡「ファンクション」選択➡◉➡「1音関連機能」選択➡◉➡「0着信設定」選択➡◉➡「1通常着信」選択➡◉➡「7クローズ終話設定」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉

●お買い上げ時には、クローズポジションにすると電話が切れるよう「ON」に設定されています。

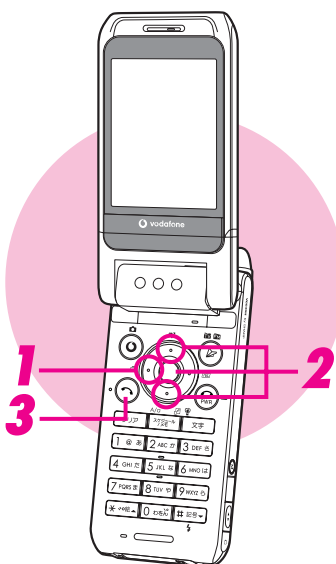
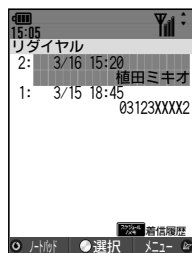
注意

●通話時マイクがふさがれていると、相手にこちらの声が聞こえなくなります。
●内蔵アンテナ部分（☞P.1-7 31）には、触れないようにしてください。通話品質が悪くなります。
●体の向きや通話している場所によっては、通話品質が悪くなります。
●通話中は、オープンポジションで利用することをおすすめします。

補足

●通話後、自動的に通話時間や通話料金の目安を表示することもできます。（☞P.2-20、P.2-21）
●累積の通話時間（☞P.2-20）や通話料金（☞P.2-21）の目安を確認することもできます。
●スピーカーを使って通話することもできます。（☞P.9-22）
●国際電話をかけるときは、「サービスガイドブック」を参照してください。

以前かけた電話番号にもう一度かける

以前かけた電話番号を呼び出して簡単に電話をかけられます。（リダイヤル）
●最新の20件まで記憶しています。

1 ◎（□）を押す。

記憶している電話番号と日時が新しいものから順に、一覧表示されます。
V603SHのアドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

2 電話番号または名前を選び、◉を押す。

3 ⌒を押す。

表示されている電話番号がダイヤルされます。

- 同じ番号に2回以上の電話をかけたときは、最後に電話をかけた日時のデータだけが記憶されます。
- シークレットデータの名前は、シークレットモード以外では表示されません。
- 電源を切ってもリダイヤルの記憶は消えません。
- 20件を超えたときは、古いものから消去されます。個別に消去することもできます。（☞P.2-16）

番号を付加して電話をかける

あらかじめ番号を登録し、アドレス帳の電話番号の先頭に付けて発信します。国際電話専用の「**国際発信**」と、184や186などお好みの番号を登録できる「**セット発信**」があります。

プリセット登録 国際発信またはセット発信用の番号を登録します。

お買い上げ時 国際発信：0046010、セット発信：なし

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ プリセット登録

「1国際発信登録」／「2セット発信登録」選択➡◉➡番号入力➡◉

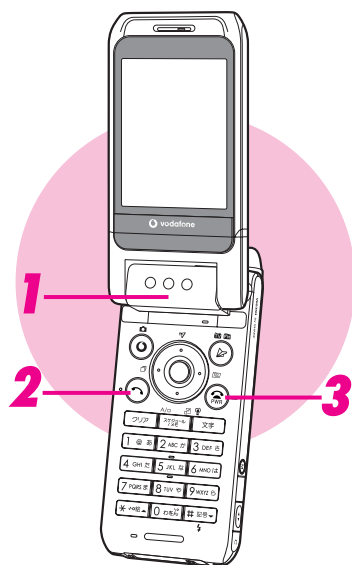
■ 登録されている番号を変更する：「1国際発信登録」／「2セット発信登録」選択➡◉➡クリア（1秒以上）➡番号入力➡◉

●「**国際発信**」は7桁以内、「**セット発信**」は6桁以内で入力します。

国際発信／セット発信 登録した番号を付加して電話をかけます。

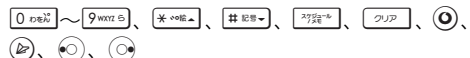
メニュー ▶ 電話 ➡ アドレス帳検索 ➡ アドレス帳を呼び出す ➡ メニュー（◉）

「国際発信」／「セット発信」選択➡◉

電話を受ける

1 着信中に、V603SHをオープンポジションにする。

相手が電話番号を通知してきたときは、電話番号が表示されます。V603SHのアドレス帳に登録している相手から電話がかかってきたときは、登録している名前が表示されます。

2 ⌒を押す。

- 次のボタンを押しても、電話を受けられます。（エニーキーアンサー）
  0～9、＊、＃、スケジュール、クリア、◎、✉、◀、▶

■ エニーキーアンサーの有効／無効を設定する：●➡「ファンクション」選択➡●➡「1音関連機能」選択➡●➡「0着信設定」選択➡●➡「1通常着信」選択➡●➡「8エニーキーアンサー」選択➡●➡「1ON」／「2OFF」選択➡●

3 通話が終わったら、☎を押す。

- V603SHをクローズポジションにしても、電話は切れます。V603SHをクローズポジションにしても、電話が切れないようにできます。（☞P.2-3）

ビューアポジションで電話を受ける ビューアポジションで電話を受けます。

着信中にS（1秒以上）➡通話が終わったらC（1秒以上）➡通話終了

- ビューアポジションでの着信時には、次のボタンを使って各操作が行えます。

S	着信メニュー表示	C（長押し）	応答保留（☞P.2-9）
S（長押し）	通話開始	◀	着信音を小さくする
C	クイックサイレント（☞P.2-7）	▶	着信音を大きくする

■ 通話中にできること：☞P.2-3

着信時の着信音量調節

■ 着信音が鳴っているときに、◎（小さくする）／◎（大きくする）を押します。押すたびに着信音量が調節できます。
- 上記の操作で着信音量を調節すると、通常着信の着信音量設定（☞P.9-2）に反映されます。
- マナーモード設定時（☞P.3-3）は、調節できません。

着信音量を一時的に「サイレント」にする（クイックサイレント）

■ 着信中に文字を押すと、その着信に限り、着信音量が「**サイレント**」になります。
■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.16-3）を「**2クイックサイレント**」に設定しているときは、着信中に設定したサイドボタンを長く（1秒以上）押すと、クイックサイレントが行えます。（クローズポジション時だけ）

電話に出られないときの対応

■ 着信中に次の操作を行います。

☎	着信を保留して、相手をお待たせします。	☞P.2-9
● 文字	V603SHの簡易留守録で応答します。	☞P.2-10
●☎	留守番電話サービスセンターなどに転送します。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約され、関東・甲信／東海／関西地域でご利用の場合）	☞P.17-4

- 着信中に●を押して、表示されるメニューから操作することもできます。
- ビューアポジション時の操作については、P.2-6を参照してください。
- クローズポジション時の操作については、P.2-11を参照してください。

簡易留守録設定中に着信があると

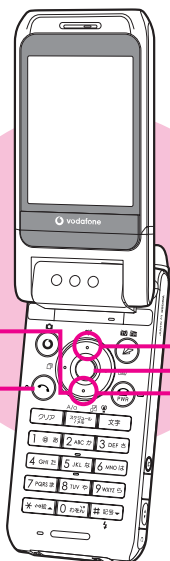
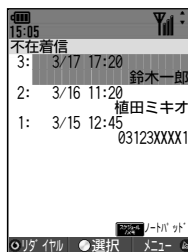
■ 応答メッセージが流れ、簡易留守録を開始します。（☞P.16-6）
簡易留守録を解除しているときでも着信中に簡易留守録が利用できます。
　着信中に●➡文字
- いずれのときも相手に通話料金がかかります。

表示について

■ 電話番号が通知されてこなかったときは、相手の電話番号や名前は表示されません。（☞P.2-2）
■ SDメモリカード内のアドレス帳に登録している相手からの着信時は、名前やピクチャーコール／メールの画像は表示されません。また、指定着信音で設定した着信音も鳴りません。（☞P.5-7～P.5-10）
■ 着信内容や時刻は20件まで記憶されており、あとで確認できます。（☞P.2-8）

- アドレス帳やオーナー情報に登録されていない電話番号からの着信について、着信時の動作を約3秒間遅らせられます。（ワンコールサイレント：☞P.2-12）
- 着信音の音量やパターン、モバイルライトの色や点滅パターン、スモールライトの点滅パターンは変更できます。（☞P.9-2）

かけてきた相手にかけ直す

発信者番号を通知してかかってきた電話は、その番号を利用して電話をかけられます。
●過去にかかってきた電話の着信内容と時刻は、着信履歴（☞P.2-16）として最新の20件まで記憶しています。

1 ◎を押す。

記憶している電話番号と日時が新しいものから順に、一覧表示されます。
V603SHのアドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

2 電話番号または名前を選び、◉を押す。

3 ⌒を押す。
表示されている電話番号がダイヤルされます。

●シークレットメモリの名前は、シークレットモード以外では表示されません。
●電源を切っても、着信履歴の記憶は消えません。
●20件を超えたときは、古いものから消去されます。個別に消去することもできます。（☞P.2-16）